

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2020-06-01

No. 120



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC &安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: CISPR 32: 放射エミッション測定における電源ケーブル終端条件規定化審議.....	3
IEC: 新規格リスト.....	6
ISO: 新規格リスト.....	9
UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム: 第 180 回セッション報告書(1/3).....	10
国際テーマ: 5G 等の技術の発展と製品発売への新型コロナウイルスの影響.....	12
国際テーマ: 欧州の医療機器に関する新規規制の適用が延期に.....	12
国際テーマ: IT/AV 機器の安全に関する新 EN 規格 EN 62368-1 : 2014、施行の再延期なし.....	12
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	13

USA: FCC: Part 15: どのタイプの非意図的放射機器が FCC 機器認可を免除されるか(2/3).....	14
USA: FCC: Part 15: 超広帯域 (UWB) 規則の適用免除が Proceq USA 社から要請.....	15
USA: FCC: Part 15: 車両内レーダーの 57~64GHz 帯運用: VALEO による規則適用免除要請.....	16
USA: DOE: 省エネルギープログラム: 小型電気モータの省エネルギー基準.....	17
USA: DOE: 汎用蛍光灯および白熱リフレクターランプの省エネルギー基準改正の可否.....	17
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	17
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	18
USA: IEEE: 新規格リスト.....	20

EU, UK: Brexit の移行: 工業製品に関連した EU 規則に関する利害関係者へのガイダンス(2/4)22	
EU: EMC 指令整合規格サマリーリスト公開: 2020/05/18 付け.....	24
EU: RED 指令整合規格サマリーリスト公開: 2020/04/22 付け.....	24
EU: RED 指令第 3 条(3)(e)、及び(f)関連: 委任法行為の作成を推奨する調査結果.....	25
EU: 機械指令整合規格サマリーリスト公開: 2020/04/16 付け.....	27
EU: 機械指令: 積層造形(3D プリンティング)能力に関連するコロナウイルス下の対応.....	27
EU: MDD 関連: 人工呼吸器および関連する付属品の規制要件: 短期的な供給を可能に.....	27
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	28
EU: ETSI: 新規格リスト.....	31

中国: CNCA: 《強制性製品認証目録と適用範囲表》等改訂: 17 種類 103 品目を対象に掲載.....	32
中国: SAMR: 自動車認証の実装ルール《強制性製品認証実施規則 自動車》を発表.....	34
中国: SAMR: 自動車用ブレーキライニング製品を生産許可から強制製品認証管理へ転換.....	35
中国: SAMR: 《商用暗号製品認証目録(第一編)》、《商用暗号製品認証規則》発行.....	35
中国: 新規格リスト.....	36
台湾: 新規格リスト.....	38
韓国: 端末装置の技術基準の一部改正(案)行政予告: 変調方式に国際標準を準用.....	38
韓国: 放送通信国家標準の改正予告: 5G NR 移動通信の無線設備の輻射試験方法等.....	38
マレーシア: 電気機器の認可に関するガイドライン第 6 版[2018 年] (7/9).....	39

総務省: 情報通信審議会 技術戦略委員会(第 25 回): Society 5.0 の実現.....	40
総務省: 2.4 GHz 帯小電力データ通信システムの新たな利用形態に係る制度整備.....	41
経済産業省: 日本産業規格(JIS)を制定・改正しました(2020 年 5 月分).....	41
経済産業省: 「電気用品等製品の IoT 化等による安全確保の在り方」報告書を公表.....	41
経済産業省: 日本が主導した定置用大型蓄電システムの安全性に関する国際規格が発行.....	42
経済産業省: 日本発の「部分的自動車線変更システム」に関する国際標準が発行.....	42
経済産業省、国土交通省: 「自動走行の実現に向けた取組報告と方針」Version4.0.....	43
国土交通省: 道路運送車両: OBD 検査、自動運行装置等に組み込まれたプログラム等の改変.....	43
ちよつといっふく〜小クイズコーナー 規格書の附属書の目的.....	13
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐久試験についてのご案内.....	21
社長の独り言.....	45

IEC: 規格解説: CISPR 32: 放射エミッション測定における電源ケーブル終端条件規定化審議

- CISPR/SC-A と SC-I のジョイントアドホックグループ（以下（SC-A/I J-AHG6）は、SC-I が担当している CISPR 32 第 2 版の改訂審議項目の一つである放射エミッション測定における新しい要求（電源ケーブルの終端条件）の追加に関して、2017 年の CISPR ウラジオストック会議からスタートした。本稿では、現在までに 5 回開催されている SC-A/I J-AHG6 における審議動向の概要をまとめて解説する。

UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム: 第 180 回セッション報告書(1/3)

- 車両規制の整合化のための世界フォーラム 第 180 回セッション(ジュネーブ、2020 年 3 月 10～12)が開催され、報告書 ECE/TRANS/WP.29/1151 発行されている。
- C. 高度道路交通システム Intelligent Transport Systems と自動化車両 automated vehicles 関連活動の調整（議題 2.3）
 - 日本の代表は WP.29-180-19 を発表し、2020 年 4 月 1 日に日本で発効する予定の自動運転に関する改正道路車両法の実施の進捗状況を紹介した。
 - GRVA の議長であるドイツの代表は、自動車に関する枠組み文書（FDAV: Framework Document on Automated Vehicles）の実施とその附属書におけるプログラムについて WP.29 に報告した。

EU: EMC 指令整合規格サマリーリスト公開: 2020/05/18 付け

- 「産業用トラック」及び「低電圧開閉装置および制御装置」関連 4 件の規格が新規に公表された。 EU: RED 指令整合規格サマリーリスト公開: 2020/04/22 付け

EU: RED 指令第 3 条(3)(e)、及び(f)関連: 委任法行為の作成を推奨する調査結果

- 無線機器指令(RED)の第 3 条(3)(e)、及び(f)は、個人データとプライバシーの保護、及び詐欺からの保護に関し将来必要であれば、欧州委員会が委任法行為を実施すべきことを規定している。委員会は外部調査会社と契約を結び、各種オプションに関する影響評価調査を実施させていた。今回その結果が得られた。
- 推奨事項 1 :
推奨されるポリシーオプションは、RED の第 3 条(3)(e)、及び(f)に基づいて両委任法行為をアクティブ化することである。これにより、RED の必須要件が強化され、規制の抜け穴が塞がれ、そして、製品の安全性とセキュリティが明確に関連付けられる（データ保護とプライバシー、および詐欺からの保護）。

中国: CNCA: 《強制性製品認証目録と適用範囲表》等改訂: 17 種類 103 品目を対象に掲載

- 中国国家認証管理委員会（CNCA）は、2020 年 04 月 28 日付けの 2020 年第 18 号公告において「強制性製品認証目録と適用範囲表」を改訂し、17 種類 103 品目を対象として、新たに公布した事を通知した。*マーク付きの製品は、自己宣言プログラム A（自選の試験所型式試験+自己宣言）を実施する製品（7 タイプ）、**マーク付きの製品は、自己宣言プログラム B（指定された試験所型式試験+自己宣言）を実施する製品（12 種類）である。他全ては第三者試験による強制性製品認証。

社長の独り言

2020年5月14日
濱口 慶一

ほとんどの読者の方が5月の連休中は“Stay at home”で過ごされたと思います。

39の都道府県で緊急事態宣言が解除されましたが、東京や大阪などはいまだ発令されたままであり、いろいろな問題を抱えながらも皆様は無事に業務に励んでいることと思います。まだまだコロナウイルスの危険性が解消した訳ではありません。むしろ第二波がやってくることを十分に警戒して、日本全体を解除の方向に向かう努力をみんなでするしかないですね。

新型コロナウイルスの感染拡大は、お客様からの必要サンプルや書類の提供にも影響をおよぼしており、弊社の業務進行にも支障が出ています。そんな中、緊急事態宣言解除後の日本はどうなるのだろうか？と思っているところに、経営塾塾長の寺島実郎氏から「日本再生の基軸」という書籍が署名入りで送られてきました。このコロナ騒ぎの後に日本社会はどのようになるのかと少し不安でしたが、この本を読んだ後には日本の経済活動が戦後の復興を凌ぐ成長の可能性を持っていると確信し、明るい希望が少し湧いてきました。国民みんなができると思っていて、明るい社会の創生に頑張る必要があると思います。文中に「自分は年齢と共にものごとのつながりが見えるようになった」という加藤周一氏の言葉があり、寺島氏自身も「これまでの体験や読み込んできた文献のつながりが閃きとなって『そうなのか』と気づくことが増えてきたように思う」と書いています。私達も製品安全業界に生かされている間に、たくさんの規格書の中から世のためになる何か良いことを閃くよう求められているように感じました。

的確なサービスとトレーサビリティの確立された成果物を早くお客様に提供できるように、社内のシステム改革を強力に推し進めているところです。社長の思考スピードで社内が動く組織にしていきたいという強い願いがあります。事業の承継と併せ、これまでコスモスを業界で生かしていただいたお客様へのお礼として、そして社員のためにも、コスモスが末長く継続する企業へと成長するにはさまざまな困難を乗り越え、このような組織になることが必須であると確信しています。幸いにも同じように考えることのできる社員が多くなってきたので、若くてもやる気のある集団へと思いついて変貌させていきたいと考えています。コスモスの成果物が業界で高く評価される内容になるように、経営者として責任を持って推進していきます。

いつもの日本蜜蜂養蜂の件ですが、Facebookを通じて多くの蜜蜂仲間ができました。今年から自然分蜂の群を捕獲して養蜂を計画している方や10年以上のベテランの方々とたわいのないことで盛り上がり、楽しんでます。私の日本蜜蜂の巣箱は4箱あるのですが、4群が何とか冬を乗り切って、桜の蜜をたくさん集めて群が別れるかと期待していたところ、2群がスムシと言う蛾の幼虫に、見事に食いつくされ、消滅してしまいました。最近になってやっと元気な蜜蜂群から分蜂が始まったので期待したのですが、10m以上の高所に集まり、その後どこかへ飛んでいきました。がっかりしたその二週間後、10mも離れていない近くの空の巣箱に、他からやってきた群と私の所から離れた群がそれぞれ別の巣箱に入ったようです。こういう分蜂群の他の箱への入居は今まで見たことがなく、居着くかどうか様子を見ているのですが、私には超嬉しい出来事になりそうです。今年は日本蜜蜂君たちには悪いのですが、長年やってみていた人工分蜂をどうしてもやりたく、それで日本蜜蜂の群をたくさん森に返したいと思うからです。去年はオオスズメバチにチクリと刺され、アナフィラキシーショックが出るぞと蜂仲間に驚かされているので、今年から日本蜜蜂を構う時は絶対に刺されないように防具を着用して作業をしています。人工分蜂の方法は多くの方がネットに公開していますが、私はまだ手探り状態です。成功したら大いに公開したいと思います。

いよいよ台風一号も南方で発生したようで、今年も暑い夏になりそうですね。体調を崩さないようにご自愛ください。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行 : 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格 : 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2020-06-01 (No. 120)

発行所 : 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人 : 濱口慶一

編集人 : 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2020 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。